

小川榮太郎氏著「徹底検証『森友・加計事件』朝日新聞による戦後最大級の報道犯罪」（飛鳥新社）に対する判決について

2021年3月10日  
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞社執行役員広報担当・福島繁のコメント

弊社の主張がほぼ認められたと考えています。小川氏が著書の中で、森友・加計学園に関する朝日新聞の一連の報道について「ねつ造」「虚報」などと記載した部分は事実と反し、弊社の名誉を毀損すると判断されました。弊社はこれらの記載が具体的にどう違うか小川氏側に指摘し訂正を求めましたが応じられず、やむを得ず裁判所の判断を仰いだものです。「言論の自由」が大切なのは言うまでもなく、弊社はこれからも建設的な言論空間を維持・発展させるため努力を続けます。

(以上)